

リンクスの 事業再生現場

レポート 第79回

Rincs (株) リンクス

宇都宮市西一の沢町8-22 栃木県林業会館5F
 TEL : 028-634-5088
 Mail : info@rincs.biz
 URL : http://www.rincs.biz/

【創立10周年】

私事で恐縮であるが、当社は今年9月で創立10年を迎えた。長かったような短かったような、少し感傷的になって振り返ってみると、そこには様々な思いや出来事があった。

ところで、10年前の平成18年は、どんな時代だったのだろう。第3次小泉内閣が終焉し、安部首相が誕生。年初にライブドアショックがあったものの、総じて景気は好調で、長かったデフレの出口を予想させるような、不動産バブル。企業の業績は好調なもの、給与は上がらず、格差経済が少しずつ深刻さを増してきた。そして、栃木県内では、2年前に国有化した足利銀行の不良債権処理が本格化し、企業再生の記事が時々新聞紙面を賑わせていた。

そんな時代背景の中で、当社は宇都宮市の一角、ベンチャー企業のための小さな部屋で産声を上げた。机が二つ、パソコンが二台、あっという間に資本金が消えてなくなったのは言うまでもない。創業の志は高いものの、それを世の中に伝える術もなく、鳴らない電話を待っていても仕方ないので、毎日営業回りや交流会で名刺配りをしていたことは、今となっては懐かしい思い出である。

厳しい状況に立たされた地方の中小企業に、少しでも元気になって欲しい、そしてもう一度経済の表舞台へと登場して欲しい、そんな願いから当社を設立したのだが、当時の金融機関は、金融庁指導の下で、不良債権の圧縮に躍起になっており、業績悪化や過剰債務企業への圧力を強めていた。その当時は、業績が悪化した企業に対する公的な支援もなく、リスケジュールをする場合などは、何回となくクライアントと一緒に金融機関を回

り、頭を下げ、書面を提出し、それでも認めてもらえずに悔しい思いをしたことも少なからずあった。

その数年後の平成21年には、デフレの深刻化や中小企業支援の高まりとともに、リスケ法と言われる「中小企業者等に対する金融の円滑化を図るための臨時措置に関する法律」ができ、金融機関の態度が豹変、我々の仕事も一気にやり易くなっていった。法律や監督官庁の指導一つでこんなにも変わるものか、などと思いながら、時代の恩恵を、ありがたく受けていたものである。

創立から10年、社会や経済の環境は変化し、中小企業への支援も徐々に厚くなり、それに合わせるように仕事の内容も変わってきている。経済環境、法律は変わっていったが、それでも不況や経済の構造変化に対応できない地方の中小企業は、まだまだ多い。

今でもリスケのための銀行回りは、年を追うごとに増えているし、経営者の高齢化による事業承継や、少子化・人口減の波といった企業では解決のつかない問題も、中小企業の体力を確実に蝕んでいる。それでも当社は、建て直しを図ろうとするクライアントと一緒にしがき、苦しみ、少しでも明るい未来となるよう日々を過ごしている。

振り返ってみると、今までの10年間でいろいろなクライアントとお付き合いすることができた。再生の道程は一つとして同じものではなく、その都度、貴重な経験させてもらっている。

次の10年は、今まで学んだ経験を生かし、時代の変化を感じ、創業の思いを忘れることなく歩んでいきたい。



〈著者プロフィール〉

代表取締役社長 佐藤 正人

昭和37年生まれ、大田原高校、新潟大学卒。

昭和60年足利銀行へ入行後、営業店、審査部門を経て平成16年退社。

在職中の事業再生の経験を活かし、平成18年栃木県で初めての事業再生専門のコンサルティング会社である(株)リンクスを設立し代表者に就任。以来地元中小企業の多くの事業再生を行っている。